

国際協力の現状

国際協力の
現状

【 】内は担当研究所等

| 相手国 | 研究課題 | 協力期間 | 相手機関 | 協力概要 | 備考 |
|---------------|--|----------------------------------|---|---|--------------------------------|
| 多国間 プロジェクト | 数式処理 システム | 1978年11月～ (終了時期不明) | ランド・コーポレーション (ユタ大学)、ケンブリ ッジ大学 | 数式処理専用計算機・ソフトウェアの 開発 | 【中央研究所】 |
| | バイオテクノロジー | 1985年4月 ～1991年3月 | | 東南アジア、中南米等の研究者を バイオテクノロジー関係研究室に受 け入れ、研修を実施 | 国際協力事業団(JICA) のプログラムによる |
| | バイオデザイン研究 | 1990年10月 ～2001年3月 | 2カ国10機関 | バイオデザイン国際共同研究にかかる 研究費、研究者派遣滞在費等の支援 | 【中央研究所】 バイオデザイン研究グループ |
| | バイオテクノロジー | 1991年10月 ～1993年3月 | アリゾナ大学、チリ・カ トリック教皇大学 | 医薬・農薬への応用に向けた生理活 性物質の発見のための植物収集に 関する共同研究 | 【中央研究所】 |
| | 放射光光学 | 1993年5月～ | アルゴンヌ国立研究所/ 欧州放射光施設(ESF) | SPring-8理研ビームラインを用いた 光学素子評価の共同実施 | 【播磨】 |
| | フェローシップ研究 者受入れ | 1996年4月 ～2003年8月 | | 理研フェロー | 【研究調整部】 |
| | ヒトゲノム配列決 定コンソーシアム | 1996年5月～ | 4カ国7機関 (理研を除く) | ヒト21番、11番、18番染色体の長 腕のクローンに基づいた解析による 配列決定 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | HETE-2プロジェクト | 1997年8月～ | マサチューセッツ工科大 学/NASA/シンガポ ール大学 | ガンマ線バースト探査衛星HETE-2 を利用した高エネルギートランジェント 天体の探査 | 【中央研究所】 |
| | 事務職員海外 研修派遣制度 | 1998年1月～ | カリフォルニア大学パー クレー校、国立科学基 金、CNRS他 | 事務系職員に国際経験を積ませるた め、海外の関係機関等への派遣を 実施 | 【総務部】 |
| | 地震フロンティア | 1999年12月 ～2001年3月 (防災研に移管) | 7カ国8機関 | アジア・太平洋地域に適した地震・津 波災害軽減技術の開発とその体系 化に関する研究 | 【フロンティア】 地震フロンティア (現防災研) |
| | FANTOM (Functional Annotation of Mouse) プロジェクト | 2000年～ | 12カ国53機関 (理研を除く) | 国際的コンソーシアムによるマウス遺 伝子の完全長cDNAの予測機能の 注釈付け及びゲノムネットワーク解析 の共同研究 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | OECD/CERI プロジェクト | 2000年～ | 5カ国8機関 | OECD教育研究革新センターが教育 の革新とその実践のために行ってい る研究事業のひとつ「学習科学と脳 研究プロジェクト」の研究ネットワ ークのひとつ、「生涯に亘る学習のネッ トワーク」にかかる研究協力を実施 | 【BSI】 |
| | アジア連携大学院 | 2001年1月～ | 釜山大学(韓国)、北 京大学(中国)、国立 交通大学(台湾)、ハ ノイ科学大学(ベトナム)、カセサート大学 (タイ)、マレーシア科学 大学(マレーシア) | 連携大学院の博士課程学生を受け 入れ、理研の研究者が連携大学院 の客員教官として指導。博士論文 のための研究を実施させる | 【研究調整部】 |
| | チンパンジー ゲノム配列決定 コンソーシアム | 2001年3月～ | 5カ国7機関 (理研を除く) | (1)チンパンジーゲノム配列地図の作 成とヒトゲノム配列との詳細な照合 (2)チンパンジー22番染色体の配列 決定とヒト21番染色体との比較解析 (3)チンパンジーY染色体の配列決定 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | マウス完全長 cDNAクローンを 用いた共同研究 | 2001年6月～ | 5カ国12機関 | 理研より外部機関に完全長cDNAク ローンを提供 | 【横浜・ゲノムセンター】 |

| 相手国 | 研究課題 | 協力期間 | 相手機関 | 協力概要 | 備考 |
|-----|------------------|---------------------------------|---|--|-------------------------------------|
| 米国 | バイオテクノロジー | 1985年7月 ～1994年6月 | デュボン社 | | |
| | 太陽光エネルギー科学 | 1986年10月 ～2001年7月 | イリノイ大学、 ジョージア大学他 | 日米エネルギー研究開発協力の一環として、光合成による太陽エネルギー変換に関する研究者交流等を実施 | |
| | 分子遺伝学 | 1988年6月 ～1990年9月 | ワシントン大学 | 協定に基づき、分子遺伝学に関する研究協力を実施 | 【筑波】 |
| | 新生物制御科学研究 | 1988年4月 ～1993年3月 | アリゾナ大学 | 砂漠植物からの新規天然物質の応用 | 【中央研究所】 |
| | 核物理 | 1991年10月～ | カンザス州立大学 | 低速多価イオン、反陽子と原子、分子の相互作用に関する共同研究を実施 | 【中央研究所】 |
| | ゲノム科学 | 1992年9月 ～1995年3月 | ジョンズ・ホプキンス大学 | ゲノムデータベースへの支援 | 【筑波】 |
| | スピン物理 | 1993年～ | ブルックヘブン 国立研究所 | RHIC加速器での偏極陽子加速とそれを用いたスピン物理研究の共同推進 | 1997年に理研BNL研究センターを設置 【中央研究所】 |
| | 生物学 | 1995年2月～ | カリフォルニア大学 バークレー校 | 植物科学分野を中心に、協力協定に基づく研究者交流等を実施 | 【中央研究所】 【横浜・植物センター】 |
| | 生物学 | 1997年4月 ～2002年4月 | テネシー大学 メンフィス校 | 協力協定に基づく研究者交流等を実施 | 【筑波】 |
| | 計算科学、素粒子物理、加速器科学 | 1997年7月～ | コロンビア大学 | スピン物理用計算機開発、加速器用ポラリスメーターの開発、素粒子物理学関係の共同研究等を実施 | 【中央研究所】 |
| | 脳科学 | 1998年10月～ | マサチューセッツ 工科大学 | 脳の記憶・学習機構の解明を中心とした共同研究 | RIKEN-MIT脳科学研究センターを設立し、連携研究を実施【BSI】 |
| | ゲノム科学 | 1999年6月～ | スタンフォード大学／ハ ワード・ヒューズ・メディ カル・インスティテュート | ゲノム分野における共同研究を実施 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | ゲノム科学 | 1999年7月 ～2002年7月 | ハーバード大学 | 協力協定に基づく共同研究等の実施 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | ゲノム科学 | 1999年12月 ～2000年12月 | 国立衛生研究所 (NIH) | ゲノム分野における基礎から応用研究に至る広範囲な国際的／学際的研究活動を共同で推進 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | 脳科学 | 1999年12月 ～2000年12月 | アイオワ大学 | 協力協定に基づく共同研究等の実施 | 【BSI】 |
| | 脳科学 | 2000年1月～ | カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 | 協力協定に基づく共同研究等の実施 | 【BSI】 |
| | 地震 フロンティア | 2000年5月 ～2001年3月 (防災研に移管) | 中部アメリカ地震センター ／米国地震工学研究 センター | 地震災害軽減技術に関する共同研究等を実施 | 【フロンティア】 地震フロンティア (現防災研) |
| | ゲノム科学 | 2000年12月～ | カリフォルニア・パシフィ ック・メディカル・センター (GPMC) | 協力協定に基づく共同研究等の実施 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | ゲノム科学 | 2001年1月～ | カリフォルニア 工科大学(Caltech) | G-タンパクを介した遺伝子発現変動の解析 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | ゲノム科学 | 2001年8月 ～2002年2月 | カリフォルニア大学 バークレー校 | 脳における遺伝子発現パターンの解析／遺伝子による免疫システムの調節に関する研究 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | ゲノム科学 (植物) | 2002年1月 ～2004年1月 | SSPコンソーシアム | シロイヌナズナ完全長cDNAの全長塩基配列決定および機能アノテーション | 【横浜・ゲノムセンター】 |

【 】内は担当研究所等

| 相手国 | 研究課題 | 協力期間 | 相手機関 | 協力概要 | 備考 |
|-------|-------------------|-----------------------|--|---|---|
| | ゲノム科学 | 2002年1月～ | ボーイズタウン研究所 病院／ネブラスカ大学 メディカルセンター | 協力協定に基づく共同研究等の実施 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | 脳科学 | 2002年7月～ | カリフォルニア大学 サンフランシスコ校 | 協力協定に基づき慢性多点電極記 録システムの開発に関する共同研究 を実施 | 【BSI】 |
| | 天体物理学 | 2002年9月～ | アラバマ州立大学 | 観測用大型光学素子に関わる研究 開発の実施 | 【中央研究所】 |
| | ゲノム科学 | 2003年3月～ | ニューヨーク州立大学 バッファロー校 | 協力協定に基づく研究者交流等を実施 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | ゲノム科学 | 2003年4月～ | ハーバード大学 カレッジ | 協力協定に基づく研究者交流等を実施 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | ゲノム科学 | 2003年5月～ | ミシガン大学 メディカルスクール | 脳下垂体前葉に存在する細胞の分子 的な制御の理解に関する共同研究 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | 再生生物学 | 2003年5月～ | テキサス大学生物 医科学大学院 | 協力協定に基づく研究者交流等を実施 | 【神戸発生・再生センター】 |
| | ゲノム科学 | 2003年8月～ | ノースカロライナ大学 チャペルヒル校 | FANTOM2を使用した共同研究を実施 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| アルメニア | 脳科学 | 2000年10月～ | アルメニア国立科学ア カデミー-L. A. オーベリ 生理学研究所 | 協力協定に基づく研究者交流等を実施 | 【BSI】 |
| 英国 | 太陽光エネルギー 科学 | 1986年2月 ～1989年2月 | ロンドン大学 キングスカレッジ | 微生物電池の開発研究の実施 | 【中央研究所】 |
| | 放射線生物学 | 1987年10月 ～1993年12月 | 英国医学研究会議放射 線生物研究所 (MRC-RBU) | 低エネルギー放射線、高エネルギー 量子線を用いたDNA損傷に関する研 究を実施 | 【中央研究所】 |
| | ミュオン科学 | 1990年9月～ | 研究評議会中央 研究所 (CCLRC) | ラザフォード・アップルトン研究所ISIS 施設に大強度パルス状「ミュオン」施 設を設け、CCLRCと共同運用して 研究を実施 | RIKEN-RALミュオン施 設は1994年に完成 【中央研究所】 |
| | ライフサイエンス | 1991年6月 ～1996年7月 | ブリストル大学 Long Ashton Research Station | 植物制御に関する研究協力を実施 | 【中央研究所】 |
| | 計算科学 | 1997年1月～ | バース大学物理学科 | 第一原理分子動力学計算の並列化 に関する研究 | 二国間プロジェクト |
| | 計算科学 | 1997年5月～ | CCLRC ダルズベリー研究所 | 大規模な分子動力学シミュレーション による物性の研究 | 二国間プロジェクト |
| | 分子生物学／ 物理科学 | 2000年12月～ | CCLRC ダルズベリー研究所 | 施設を相互利用、シンポジウムの開 催等により、放射光科学及び構造 生物学に関する協力を実施 | 【播磨】 |
| | ゲノム科学 | 2001年10月～ | メディカルリサーチカウ ンシル (MRC) | 広範囲な国際的／学際的研究活動 を推進し、マウス、ヒトその他ゲノム の発現解析を含む基礎から応用研究 に至るゲノム科学の総合的研究に関 する研究協力を実施 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | 脳科学 | 2003年4月～ | サンダーランド大学 ビジネススクール | 協力協定に基づく研究協力の実施 | 【BSI】 |
| | 量子現象観測 技術研究 | 2003年9月～ | ケンブリッジ大学 | 電子線ホログラフィーによる電磁場 観測技術の開発にかかる共同研究 を実施 | 【フロンティア】 |
| イスラエル | 姉妹協定に基づく 研究交流等 | 1996年7月～ | ワイツマン研究所 | ゲノム科学、脳科学の分野で研究 協力が行われている | 【横浜・ゲノムセンター】 【BSI】 |

| 相手国 | 研究課題 | 協力期間 | 相手機関 | 協力概要 | 備考 |
|---------|---------------|-----------------|-------------------------------|---|-------------------------|
| イタリア | 核物理学 | 1991年10月～ | 国立核物理研究所 (INFN) | 重イオン物理に関する共同研究(理研、INFN双方の加速器施設を利用して実施)、合同シンポジウム等を実施 | 【中央研究所】 |
| | 核物理学 | 1997年5月～ | 国立エネルギー環境新技術研究所 (ENEA) | 原子核物理に関する共同研究、研究者交流を実施 | 【中央研究所】 |
| | ゲノム科学 | 2000年11月～ | 国立生物工学系大学連合研究所 | 協力協定に基づく研究協力の実施 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| インド | 加速器科学 | 1996年4月～2001年4月 | 先端技術センター (CAT) | 協力協定に基づく研究協力の実施 | 【中央研究所】 |
| | 脳科学 | 2002年10月～ | インド技術研究所 生物科学・生物工学部門 | 協力協定に基づく研究協力の実施 | 【BSI】 |
| | 脳科学 | 2003年4月 | 国立脳科学研究センター | 脳科学総合研究センターとの間に姉妹協定を締結し、研究協力を実施 | 【BSI】 |
| インドネシア | 微生物食品／微生物細菌 | 1977年1月～1983年度 | インドネシア原子力庁 | 食品貯蔵に関する微生物学的及び生化学的研究／新しい害虫防除技術に関する研究 | 【中央研究所】 二国間協定に基づく協力 |
| | バイオテクノロジー | 1979年度～1981年度 | バジャジャラン大学 | 熱帯植物に含まれる新生理活性物質の研究／熱帯、亜熱帯の微生物・植物の総合的な開発利用技術に関する研究／新有用遺伝子資源の探索と活用に関する研究 | 【中央研究所】 二国間協定に基づく協力 |
| | バイオテクノロジー | 1984年4月～1987年度 | 原子力庁パサジュマ・アイソトープ・ラディエーションセンター | 未知な昆虫毒、貝毒、魚毒等の医薬、農薬利用に関する研究 | 【中央研究所】 二国間協定に基づく協力 |
| | バイオテクノロジー | 1985年1月～1987年3月 | バジャジャラン大学、技術開発応用庁 | 熱帯産微生物及び植物の生物工学的開発に関する研究 | 【中央研究所】 二国間協定に基づく協力 |
| | 姉妹協定 | 1989年11月～ | 技術評価応用庁 (BPPT) | H.4.3.～6.6.まで植物関係で研究者受け入れ | 二国間協定に基づく協力 |
| オーストラリア | バイオテクノロジー | 1982年7月～ | オーストラリア国立大学 | 熱帯・亜熱帯の植物生長調整物質に関する科学的分析を実施 | 【中央研究所】 二国間協定に基づく協力 |
| | 姉妹協定に基づく研究交流等 | 1984年5月～ | 連邦科学産業研究機構 (CSIRO) | 植物機能に関する研究協力を実施 | 【中央研究所】 |
| | ライフサイエンス | 1997年6月以前 | エラスムス大学 医学遺伝学センター | | 二国間協定に基づく協力 |
| オーストリア | 原子物理学 | 2000年3月～ | ウィーン工科大学 理論物理研究所 (TU) | 低速多価イオンと表面の相互作用に関する研究協力の実施 | 【中央研究所】 |
| カナダ | 姉妹協定に基づく研究交流等 | 1997年9月～ | 国家研究会議 (NRC) | 姉妹協定に基づき、計算科学、細胞制御化学、ゲノム科学の分野での協力を推進 | 【中央研究所】 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | ゲノム科学 | 2001年1月～ | トロント大学附属 小児病院 (HSC) | ハイブリゼーションスクリーニングのための高密度フィルターの製造に関する共同研究 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | 脳科学 | 2003年3月～ | ヘルスネットワーク大学 オンタリオ癌研究所 | 協力協定に基づく研究協力の実施 | 【BSI】 |
| 韓国 | 姉妹協定に基づく研究交流等 | 1989年11月～ | 韓国科学技術研究院 (KIST) | 姉妹協定を継続中 | 【中央研究所】 |
| | 生物化学 | 1992年4月～ | 韓国生命工学研究所 (KRIBB) | 微生物起源の新規生物活性物質に関する化学的・生物学的研究を実施 | 二国間協定に基づく協力 |
| | 姉妹協定に基づく研究交流等 | 1994年5月～ | 韓国化学研究所 (KRICT) | 植物科学研究分野での協力を実施 | 【横浜・植物センター】 【中央研究所】 |
| | 加速器科学 | 1997年4月～ | 韓国がんセンター病院 (KCCH) | 重イオン加速器分野で協力協定に基づく研究協力を実施 | 【中央研究所】 |

【 】内は担当研究所等

| 相手国 | 研究課題 | 協力期間 | 相手機関 | 協力概要 | 備考 |
|--------|---------------|-----------------------|--------------------------|--|-----------------------|
| | 加速器科学 | 2000年1月～ | 浦項加速器研究所 (PAL) | 放射光科学に関する共同研究、情報交換等を実施 | 【播磨】 |
| | 素形材工学 | 2000年2月～ | 韓国産業技術研究院 (KITECH) | マイクロファブリケーションに関する研究者交流を目的としたシンポジウム等を実施 | 【中央研究所】 |
| ギリシャ | ゲノム科学 | 2002年1月～ | 生物医学研究センター “Al. Fleming” | 協力協定に基づく研究者交流等を実施 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| | 脳科学 | 2003年4月～ | パトラ大学医学部 生理学部神経生理ユニット | 協力協定に基づく研究者交流等を実施 | 【BSI】 |
| シンガポール | 発生生物学 | 2003年7月～ | テマセク生命科学研究所 | 協定に基づく研究交流を実施 | 【発生・再生センター】 |
| スイス | 原子物理 | 1998年12月～ | 欧州合同原子核研究機関 (CERN) | CERNに設置されている反陽子減速器を用い、「反陽子を用いた反物質科学」、「超低速反陽子を用いた反陽子原子と反水素の物理学」等の研究を実施 | 【中央研究所】 |
| | 放射光科学 | 2000年10月～ | ポールシェラー研究所 (PSI) | PSI施設を利用した新型放射光発生装置の開発研究等の共同研究を実施 | 【播磨】 |
| | スピン物理 | 2002年1月～ | 欧州合同原子核研究機関 (CERN) | シリコンピクセル検出器の開発研究 | 【中央研究所】 |
| | ゲノム科学 | 2003年7月～ | ベルン大学 | FANTOM2クローンを用いた共同研究を実施 | 【横浜・ゲノムセンター】 |
| スウェーデン | 原子物理、ナノ | 1995年7月～ | ルント大学 | 原子物理学、ナノテクノロジーの分野での協力を推進 | 【中央研究所】 |
| | 原子物理 | 2000年10月～ | ストックホルム大学 | 多価イオン、RIイオン、反陽子のトラップに関する共同研究、ワークショップ等の実施 | 【中央研究所】 |
| | 姉妹協定に基づく研究交流等 | 2001年11月～ | カロリンスカ研究所 | ゲノム科学における包括的な協力関係を樹立し、脳研究の発展に関する研究協力を推進。2004年10月には包括的協力協定を締結 | 【横浜・ゲノムセンター】 【BSI】 |
| タイ | 生物学 分子生物学 | 1996年4月以前 1999年9月～ | タイ科学技術研究所 カセサート大学 | 協力協定に基づく研究者交流等を実施 | 二国間プロジェクト 【中央研究所】 |
| 台湾 | 物理学等 | 2001年6月～ | 中央研究院 | 協力協定に基づく研究者交流等を実施 | |
| 中国 | 薬物学 | 1981年6月～1982年3月 | 中国科学院上海薬物研究所 | 中国の生薬の有効成分の分析による新しい生理活性物質の探索に関する研究 | 【中央研究所】 |
| | 宇宙線科学 | 1981年9月～1982年3月 | 中国科学院北京空間物理研究所 | 中国国内の高山に大型中性子計を設置し、高精度の宇宙線共同観測を実施 | 【中央研究所】 |
| | 姉妹協定に基づく研究交流等 | 1982年5月～ | 中国科学院 | 協定に基づき、研究者の招聘、派遣を実施 併せて、傘下の近代物理研究所、高能物理研究所、上海分院、上海細胞生物学研究所、新疆生物土壤砂漠研究所とも協定に基づく研究協力を実施 | 【中央研究所】 |
| | 薬物学 | 1983年1月～1991年3月 | 上海市農薬研究所 | 中国産土壌微生物から農薬用抗生物質の探索を実施 | 【中央研究所】 |
| | 加速器科学 | 1999年1月～ | 北京大学 | 協力協定に基づき、研究者交流等を実施 | 【中央研究所】 |

| 相手国 | 研究課題 | 協力期間 | 相手機関 | 協力概要 | 備考 |
|----------|--------------------------------|-----------------------|---------------------------|--|---|
| | 生体分子工学・原子物理学 | 2001年2月～ | 上海交通大学 | 協力協定に基づき、研究者交流等を実施 | 【中央研究所】 |
| 独国 | 姉妹協定に基づく研究交流等 | 1984年6月～ | マックス・プランク協会 | 姉妹協定に基づき、傘下の生物物理化学研究所、分子植物生理学研究所、認識脳科学研究所、分子遺伝学研究所、生化学研究所、生物物理学研究所、医科学研究所、分子細胞生物学遺伝子研究所との間で研究協力が行われている | 【横浜・ゲノムセンター】 【横浜・植物センター】 【発生再生センター】 【播磨】 【フロンティア】 |
| | 材料化学 | 1986年4月～ | ブレーメン大学他 | 有機化合物、無機化合物、金属を分子レベルで複合化した新規機能性材料の開発を目指した共同研究を実施 | 【中央研究所】 |
| | 核物理 | 1992年4月～ | フランクフルト(ゲーテ)大学 | 多価重イオンと原子衝突に関する共同研究等の実施 | 【中央研究所】 |
| | フェロシップ研究者受入れ | 1992年～ | ドイツ研究財団 | ドイツ研究財団より若手研究者を受け入れ | 【研究調整部】 |
| | 核物理学 | 1995年5月～ | 重イオン科学研究所(GSI) | 加速器科学、原子物理学の分野で共同実験、共同研究を進めている | 【中央研究所】 |
| | 脳科学 | 2003年4月～ | ライプチヒ大学心理学部 | 協力協定に基づく共同研究を実施 | 【BSI】 |
| | ナノテクノロジー | 2003年4月～ | コンスタンツ大学 | 超低温と光を相補的に用いたナノサイエンスに関する研究協力を実施 | 【中央研究所】 |
| ニュージーランド | 姉妹協定に基づく研究交流等 | 1993年7月～ | クラウン研究所 | 1987年に科学産業研究庁(DSIR)との間に締結した機関間協力協定を引き継ぎ、締結 | |
| ハンガリー | 生物科学 | 1990年3月～ | ハンガリー科学アカデミー植物保護研究所 | 二国間協力協定に基づき、フェロモン産生メカニズムに関する研究協力を実施 | 【中央研究所】 |
| | 核物理学 | 1992年4月～ | ハンガリー科学アカデミー核研究所(ATOMKI) | 二国間協力協定に基づき、多価イオンと原子の衝突、非中性プラズマに関する研究協力を実施 | 【中央研究所】 |
| フィンランド | 加速器科学 | 1986年6月～ | ユバスキラ大学 | イオンガイド法によるオンラインアイソトープ分離装置の開発 | 【中央研究所】 |
| | 微生物生態学 | 1986年9月～ | 技術開発センター(VTT) | 極限環境微生物に関する研究 | 【中央研究所】 |
| | 基礎核物理学 | 1991年～ | ユバスキラ大学 | ユバスキラ大学の低エネルギー加速器と理研のリングサイクロトロン(中高エネルギー加速器)を利用した共同研究 | 【中央研究所】 |
| | 姉妹協定に基づく研究交流等 | 1995年10月～ | ヘルシンキ工科大学 | ロボティクス分野(サービスロボティクス技術の開発と社会応用)と脳科学分野(脳信号処理方式の解明)での研究協力を実施 | 【中央研究所】 【BSI】 |
| 仏国 | 材料工学 生物科学分野における姉妹協定に基づく研究交流 | 1982年10月～ 1984年1月～ | グルノーブル大学他 パスツール研究所 | 耐食性高強度材料の開発 協定に基づき、「胚性腫瘍細胞の抗癌化メカニズム解析」、「パラバソリア原生動物の分子系統学的研究」などの共同研究を実施 | 【中央研究所】 【筑波】 【中央研究所】 |
| | 加速器科学 | 1980年5月～ | CNRS国立核物理素粒子物理研究機関(IN2P3) | 原子核物理実験(26Neの分解反応実験等) | 【中央研究所】 |
| | 姉妹協定に基づく研究交流 | 1994年6月～ | 国立科学研究センター(CNRS) | 包括協定に基づき現在、ゲノム科学、ナノテクノロジー、脳科学、発生再生、放射光科学などの分野で協力を実施中 | 【横浜・ゲノムセンター】 【中央研究所】 【BSI】 【CDB】 【播磨】 |

【 】内は担当研究所等

| 相手国 | 研究課題 | 協力期間 | 相手機関 | 協力概要 | 備考 |
|-------|------------------|-----------------|--|--|------------------------|
| | 姉妹協定に 基づく研究交流 | 1996年5月～ | ルイバスツール大学 | 協定に基づき、研究者の招聘、派遣を実施 | 【研究調整部】 |
| | フォトダイナミクス | 1997年5月～ | グルノーブル第一大学 | 二国間協力協定に基づき、フォトダイナミクスに関する共同研究を実施 | 【フロンティア(仙台)】 |
| | 加速器科学 | 2001年5月～ | 原子力庁(CEA) | 協力協定に基づく共同研究活動の実施等 | 【中央研究所】 |
| ブルガリア | レーザー物理 | 1997年11月～ | ソフィア工科大学 応用物理研究所 | 超短パルスレーザーと物質の相互作用に関する研究を共同で実施 | 【中央研究所】 |
| | 植物科学 | 2001年12月～ | 国立アグロバイオ 研究所 | 協力協定に基づく共同研究の実施 | 【横浜・植物センター】 |
| ベトナム | 計算科学、 核物理学 | 1997年3月～ | ベトナム原子力委員会 ／核科学技術研究所 (INST) | 理研で開発された分子動力学専用 計算機を活用した物性物理、地球科 学分野の計算機シミュレーション、原 子核物理、天体核物理実験用のデ ータ収集等を実施 | 【横浜・植物センター】 【中央研究所】 |
| ポーランド | 素形材工学 | 1990年7月～ | ワルシャワ工科大学 | 二国間協力協定に基づき、素形材 工学に関する研究協力を実施 | 【中央研究所】 |
| ロシア | 基礎科学 | 1992年7月～ | ロシア科学アカデミー 化学動力学・燃料研究所 | | 二国間協定に基づく協力 |
| | ナノテクノロジー | 1996年 ～1998年 | ロシア人民友好大学 | 人造ナノ物質の原子構造及び電子 構造にかかる共同研究を実施 | 【中央研究所】 |
| | ミュオン科学 | 1998年12月～ | ミュオン触媒核融合研 究調整センター (MUCATEX) | 英国RAL施設のバルスミュオンビー ムとロシア・ドゥブナの連続ミュオン ビームを用いたミュオン触媒核融合 及び関連するミュオン科学に関する 研究協力を実施 | 【中央研究所】 |
| | 加速器科学 | 1998年12月～ | クルチャトフ研究所 | 協力協定に基づき、中性子過剰の 存在極限にある原子核の研究に関 する研究協力を実施 | 【中央研究所】 |
| | 核物理学 | 2001年3月～ | 核研究合同研究所 (JINR) | 傘下のフレロフ原子核反応研究所 (FLNR)、核問題研究所(LNP)、 粒子物理研究所(LPP)、高エネル ギー研究所(LHE)との間で、重イ オン核物理、加速器科学に関する 研究協力を実施 | 【中央研究所】 |
| | 重イオン加速器科学 | 2001年3月～ | 国立研究センター 理論及び実験物理 研究所(ITEP) | 協力協定に基づく研究協力の実施 | 【中央研究所】 |
| | ゲノム科学 | 2002年10月～ | タンパク質研究所 (Institute of Protein Research) | タンパク質の構造・機能の解析に関 する研究協力の実施 | 【横浜・ゲノムセンター】 |